京城日報 朝刊
京城府中區太平通一丁目三十一番地
發行所 合資會社京城日報社

海鷲縱横の活躍
ナヌメヤ島周邊に巨彈浴せ
忽ち屠る敵船四隻

【南太平洋〇〇基地十日同盟】わが海軍航空部隊は八日朝爽やかな太平洋の洋心たるエリス諸島ブナフチ島北方に位するナヌメヤ島に伸ばし、同島周邊海面を航行中の敵輸送船を發見するや直ちに之に猛攻を加へ小型輸送船二隻、特務艇二隻を撃破したほか同島敵軍事施設に對して猛爆を加へ大損害を與へた、敵の地上砲火は熾烈を極めたが わが方被害なく全機無事歸還した、今回のナヌメヤ島攻撃は去る八月十日の急襲に次ぐもので わが海鷲縱横の活躍ぶりを示すものである

伊皇儲妃瑞西到着

【チューリッヒ十日同盟至急報】イタリヤ皇儲ウンニベルト殿下の妃殿下が九日夜王女、王子四方を伴ひスイス西南部のマルトイニイに到着した

敵機六撃墜破
廣東地區の防衛陣鐵壁

【香港十日同盟】在支米空軍ノースアメリカンP24型八機は 戰鬪機數機に護衛されて九日午後一時卅八分 またも廣東地區に來襲したが、わが航空部隊は直ちにこれを邀撃P40四機を擊墜するとともにB25二機を擊墜破、敵の執拗なる出擊企圖を完全に粉碎した、敵機は秋空の亂雲を巧みに利用して廣東北西方より侵入せんとしたが、かねて この事あるを期して待機中だつたわが陸鷲は逸早く邀擊態勢をとつて 敵を廣東北方上空に捕捉壯烈なる激戰を展開して忽ちP40四機を北江河畔に擊墜した、さらに他の一隊は遁走せんとする敵爆擊機編隊を急追して必中の有效彈を浴びせ B25二機は黑煙を吐いてあはや擊墜と見えたが雲中に遁走した ためその 最期を確認することは 不可能と見られその他の敵機にも相當の損害を與へてゐる、かくて擊墜敵機擊爆六機(うち不確實二機)の戰果を收めた

我驅逐艦の離れ業
世界海戰史空前の快事

【南太平洋〇〇基地島間海軍報道班員發】八月二日未明中部ソロモンの激戰場たるコロンバンガラ島西方海域ベラ灣において敵高速魚雷艇に痛烈な體當りを喰はせ、之を眞二つにした忽ち擊沈し去つたわが驅逐艦の前代未聞の離れ業は海戰の常識を遙かに超越し世界海戰史に未曾有の快事だつた、それだけに同艦の豪膽無類の奮戰は敵の心魂を奪ひ去るとゝもに味方の士氣を飛躍上にも鼓舞したのであつた コロンバンガラ島方面海域におけるわが水雷戰隊の神出鬼沒の活躍は間斷なく敵を脅かし續けこれを妨害すべく躍氣となつた敵は數に物を言はせ空中からする絕え間なき爆擊に加ふるに同海域の波靜かなのに乘じ魚雷艇多數を繰出し空と海に隙間もなく網を張り廻らして出擊するわが艦船を狙つてゐるのが目下の現狀である、このなかを乘り切つてわが方の輸送掩護に敵の補給遮斷に挺身する水雷戰隊の行動は恰も 槍襖を揃へて待ち構へる敵中に突つ込むと同じくその一回々々が眞に決死の突擊にほかならないのである、今回の

〇〇は警戒に任じつゝベラ灣を南下、水道に差し掛つた際、網を張つてゐる敵魚雷艇六隻をいち早く發見、敵の機先を制して僚艦ともにこれを猛襲して一齊射擊を浴びせ忽ちにしてその二隻を擊沈、一隻を大破、他を遁走せしめたのである、かうして間もなくコロンバンガラ島泊地に入り任務を終へて二日〇時揃つて…に着いた、僚艦は□島よりを北上し、〇〇はその

舷側を掩護

…てゐた、この時司令の頭に遁走した殘存魚雷艇が…を企てゝ待ち伏してゐる…いとの豫感があつた、…着かしめ至嚴の警戒裡に…の海上に眞つ白い航跡を…快速で一路北進を續けた…惡くなかつたが、月のな…

驅逐艦〇〇の神業も決して偶然齎らされた戰果ではなく正に斷り溢ふ及の下、身を捨てゝ僚艦の危急を救ふとゝもに自らを活かした貴重な戰果であることを知らねばならない、以下は殊勳の驅逐艦にあつて痛快な體當り戰法を指揮した〇〇司令の奮戰振りである

その前夜すなはち一日深…驅逐艦…漆黑の闇に閉ざされて視界は極めて不良である、コ島の島影をかすかに右に見つゝ航行を續けた時だつた、突如左舷の見張員がけたたましく叫んだ『左舷前方に、魚雷艇』警と同時に艦橋にゐる司令、艦長以下の肉眼にも自艦の左前方をつツ切つて僚艦目がけて驀進せんとする三つの黑い影が映じた、距離は僅かに〇〇メートル最早砲擊も間に合はない、知らずに航行する僚艦に對し今にも魚雷がぶつ放されたら僚艦は到底助かり得ない、司令の決心はこの時すでに決つてゐた、以心傳心艦長の決意もたゞ一つだつた、體當りの一手だ身を捨てゝ僚艦の一隻を活かさうといふのだ『突ツ込め』近代海戰においては恐らく前代未聞の號令が發せられた、取舵一杯、わが驅逐艦は全速力で一番近くの魚雷艇目がけて突進したのである、目の前を敵魚雷艇の影が何かに吸ひ込まれるやうにすうつと走つた、その瞬間艦首が敵魚雷艇の脇腹にめり込んだのである、ヅシンと響ふ衝動と同時に物の闇がぶつ倒れさうな震動が來て一番砲塔の左側にパツと一つの塊が立ち上つたやうな氣がした、續いて艦橋方面に降り注ぐ油の燃え粕が豪雨のやうに司令以下の顏に飛んで來た、魚雷にぶつかるのは魚雷そのものにぶつかるのと同じだ『魚雷爆發か』一瞬

刺し違ひかな

…決意した…家の瞬間…つの塊が燃えながら舷側を後に…れるのが見えた、敵魚雷艇を…

日本の眞髓に透徹
留日學生處遇案決定
情報局發表

【東京電話】大東亞建設の進展に伴ひ、大東亞各國、各民族の將來を擔當すべき各地有爲の青少年は競つてわが國に留學、大東亞建設の大理想を日本の現地において體得、その將來の雄飛に資せんと熱望し最近に至つて特に留學希望者は激增の一途を辿つてゐるが從來留日學生の處遇に關してはなほわが方において檢討改善を加ふべき餘地があつたので政府は十日の閣議において留日學生の處遇に關する諸方策を決定午後五時つぎの如く情報局より發表された、しかして今回の留日學生の處遇方策は極めて大東亞的性格を帶びるものであつて銓衡、渡日、就學より成業後の就職斡旋に至るまで一貫せる方針のもとに實施されるところに重大な特色があり、また國內各般の機構、施設についてもそれぞれ根本的の改革改善を加へてわが國の學術技能を十分に習得せしむるとゝもに日本文化の眞髓に透徹せしめ大東亞建設の根本義の體得をはかるところにその根本の目的を置き、あくまでも大東亞大家族の若き學徒を遇するの措置萬全を盡

深き大御心
留日學生處遇案に關し文相謹話

【東京電話】岡部文相は十日午後四時二十分宮中に參內、天皇陛下に拜謁仰付けられ、同日の閣議で決定した留日學生の敎育保導の件につき委曲奏上種々御下問に奉答して御前を退下したが種々有難き御下問を賜り留日學生の敎育に對する深き大御心に恐懼感激して左の如く謹話した、岡部文相謹話
聖上陛下におかせられては軍國多事の際政務殊に御多端の折からにも拘らせられず本日特に拜謁を賜り今回決定を見ましたる留日學生の敎育保導の件につき委細奏上申上げました、留日學生の敎育に對しては夙に大御心を垂れさせ給ふことの一入深きを拜察致しをりますが本日は畏き御下問まで賜り誠に感激に堪へないところでありますが今や時局は重大なる秋に當り有爲なる留學生をしてよくわが國體ならびに文化の眞髓を把握せしめ、わが國青年學徒と深く相結んで世界に冠絕する新しき大東亞建設の大業に邁進せしむるため大東亞省と連絡して懇篤なる保導と敎育を施すことはまさに刻下の急務なりと考へるのであります、こゝに恐懼に堪へずいよいよ聖慮を拜し率り、まことに恐懼の誠を致し、官民協力して留日學生敎育につき一層の御奉公を致しもつて聖旨に應へ奉らんことを期する次第であります

情報局發表

【東京電話】情報局發表(九月十日)=本日留日學生の處遇に關して閣議の決定を見るに…留日學生の處遇に關しても官民協力してこれに當り敎育にその實を擧げ來つ…るが、時局下大東亞建設進展に伴ひ共榮圈內各國よりの留學希望者は增加の…るの趨勢にあり、しかも…日學生は將來それぞれ…る指導的人材たるの前途…ものであつて、その大東…關して寄與すべき力は…大なるものがある次第で…府は這般の情勢に鑑みて…遇の狀況につき檢討を加…

鐵道ダイヤ改正
十月一日から實施(內地)

社說 戰ふ半島建設のために

一

いはゆる決戰なる言葉が強調せられる今日、決戰とは果して如何なる意味であるかに低迷してゐる者がないではないが、決戰とは即ち勝敗の歸趨を決すべき最後的段階を意味するものであることを先づ銘記せしめねばならぬ。いひ換へれば戰爭の目標は敵の抗戰力を徹底的に破碎して、その戰意を喪失せしめることによつて、最後の勝利を制するにある。そしてその最後の勝利を制するために必要且つ嚴酷なる手段こそ、決戰であるといふことが出來る。從つて各戰鬪においては九百九十九回勝つたにしても、最後の僅かの一戰に敗れたら、その戰爭全體が敗北に終ること、必ずしもナポレオンのウオーターローの敗戰を想起するまでもない。

二

されば決戰即應の備へこそ、戰時における國家的にして國民的なる唯一の道である。然るに戰力の增強蓄積により、決戰意識を昂揚すべきであるにも拘らず、兎角戰爭の齎す長期態勢に倦み、自らの思想精神に右顧左眄を敢てせざるを得ぬ徒輩のあるとは、何といつても慨嘆に堪へぬところである。而もその右顧左眄、自らの力を恃み得ざる不明妄信の徒によつて、如何に多くの害毒を與へつゝあるかを指摘せざるを得ない。殊に朝鮮統理の根本施策が、少くとも昨年以來は一に決戰に即する戰勝把握に重點を置いてゐるにも拘らず、それへの挺身協力が十全でない者があるとすれば、それは正に非國民的、反國家的、スパイ的存在であるといはねばならぬ。

三

この點につき、小磯總督が記者團との會見において『わが半島在住の同胞の中には、今日なほ依然として事大思想に囚はれてゐる者、その數まことに少からざるを遺憾に思ふ』と語つてゐること自體、半島に在住するわれ等としても亦遺憾至極のことといはねばならぬ。然も斯る徒輩が『大勢の達觀上自ら斷乎として努力せねばなら…あるに拘らず、やがて…樞軸側の不利となり、…からず米英思想勢力の…ふものと妄斷』して…の危殆たる時機に都合…地を今日より準備し…なりと考へてゐる』…逃避を指摘してゐる…感ながら一面の現實…を深憂するものであ…

四

今日都鄙上下官民…決戰意識昂揚のため…秋、かゝる不透明な…

斷じて容認し難し
わが方・對伊嚴重抗議

【東京電話】バドリオ政府が屈辱的無條件降伏した不信行爲に對して在ローマ日高大使は八日ロツソ事務總長をイタリヤ外務省に訪問したところグアリリヤ外相の名においてバドリオ・イタリヤ政府は軍を通じ米英軍に屈伏休戰を申出でをりたるところ今八日休戰條件について双方同意成立せるが…休戰につき事前に日本およびドイツ側と打合せたることなき事實を確認せしめたうへ、對米英戰共同遂行單獨不講和および新秩序建設協力に關する日獨伊三國協定を引用し帝國政府の名において伊國府の不信を難じ最も強硬なる…を提出した、他方在京イタリヤ大使館ヤンネリ參事官は大使の…として十日午後四府松本外務…

伊國の行爲を痛擊
さくや堀情報局第三課長放送

獨空軍・伊艦擊沈

伊クーデターの眞相

伊海軍の動向注目

亞外相辭職

各道に食糧部新設
十四日、閣議に附議決定

【東京電話】朝鮮における食糧管理の實施に伴ふ朝鮮總督府では全鮮十三道に食糧部を新設することになり、かねて地方官制の改正につき內務省、法制局と折衝中のところ、このほど改正案の作成を終へたので十四日の閣議に附議決定のはずである、食糧部は主要食糧の買入れ、賣渡し、檢査など各地方における主要食糧の管理事務を管掌するもので、これに伴ひ從來の總督府米穀事務所および各地方米穀檢査所(全鮮七ケ所)は廢止され食糧管理事務は總督府より各道知事に移讓される、なほ各道食糧部新設により部長(事務官)十三名、技師七名、屬六十五名、技手二千百四名が任命される

無線技術者の整備
全國學校を廢し養成機關に統合

【東京電話】科學戰ともいはれる現戰局にあつて通信報道の任に挺身する無線通信士、無線技術者の任務は愈々重要さを加へたが從來無線技術者養成の一半は斯種學校たる無線通信學校の教育に一任されて國家としての養成機關は整備されてゐなかつた、大東亞戰爭と共に廣大な戰場と雄大な作戰に無線通信技術者の養成は益々增大し從來の如く私立經營の養成機關に委ねては施設、經營、要員等の點から急速に擴充整備することは困難なのでこゝに無線通信技術者の國家的養成計畫を樹立すべく十日午後一時から文部省において企畫院、陸海軍、文部、遞信關係官と無線通信および技術者養成機關たる斯種學校經營者側に校長との懇談協議會を行つた

これにより無線通信士および技術者養成の國家的養成計畫樹立のその第一段階として現在全國にある斯種學校たる無線通信學校を全廢、これに代るべき官立無線通信士および技術者養成機關の新設を決定、無線通信學校當事者の多大なる斯界への貢獻を謝すると共に今後の全面的協力を要望した、尙かくて廢校される無線通信學校は全國二十二校(東京十二、横濱三、名古屋一、大阪四、神戸二)で在學生一萬名以上におよび中には施設不充分な戰時通信技術に適せざるものがあるが、その施設は總て適當な方法をもつて政府において處理し在學生は新設養成機關へ詮衡試驗を經て收容、新しき計畫の下に養成を開始する、又新養成機關は通信士養成遞信省所管にて無線電信講習所(東京都目黑區)の支所を全國三箇所(東京二、大阪一)開設約六千人を入學收容、技術者を養成し文部省所管にて東京高等工藝學校(東京都芝區)の普通科に無線通信技術科を新設、約五百人を入學收容の二段構へとし無線通信技術科においては第一種を高卒三年、第二種を中卒一年生(但し本年入學者に限り第一種二年六ケ月、第二種六ケ月)とし來る九月十九日入學試驗を行ふが在學生數一萬人以上に對する入學收容者數は六五〇〇人なので銓衡試驗はかなりの難事を豫期され國家的無線通信士技術者たる爲に斯種學校より官立養成所への道に大きな勉學を必要とされてゐる

日滿の司法連絡
十六日から新京で會議

【東京電話】第一回日滿司法連絡會議は來る十六日から三日間滿洲國新京の司法部で開催され、日本側から黑川大審院次長、佐藤檢事、地方裁判所長、滿原司法省秘書課長、下村同刑事局經務課長、市川同民事局第一課長の五氏が出席する

議題は思想問題の對策、日滿司法部の人事交流など兩國の司法事務の連絡を緊密ならしむるための主要問題のみで民事、刑事に關する細目の問題は追つて專門委員會を開いて決定することになつてゐる、なほ一行は十一日出發する

横瀨東貿社長以下 鮮華交易懇談參加

鮮華北の物資交流を促進するため、東亞貿易では華北交易統制會幹部の懇談打合せを行ふことになり、横瀨社長および高橋總務課長は來る十八日出發、月末歸城の豫定である

鐵鋼調査班 一行十八日來城

政府が實施する朝鮮鐵鋼生産の調査は一時延期することになつてゐたがその後、當初の日程通り實施に決定、商工省石田鐵鋼第二課長以下四名の調査班員及び輔佐十四名は十八日、總督府側委員と合流して清津を振出しに十九日茂山、廿一、二兩日兼二浦の特別調査を實施、廿四、五兩日總督府で打合會を開くことになつてゐる、なほ調査項目は清津製鐵所については增山炭の檢討以下十項目、兼二浦ではコークス爐促進以下十四項目、茂山では石增產對策以下六項目であり

一、本年度鮮內鐵鑛石需給第一期の實績及び第二四半期以降見透し
二、鐵鑛石積出に適する各種積出設備、能力並に實可能
三、十九年度需給豫想並に對策

日鐵兩工場 小型鎔鑛爐順調

日鐵兼二浦及び清津の小型鎔鑛爐建設は極めて順調に進捗し

功勞者等を表彰 貿協十周年記念事業

昭和八年六月廿日創立された法人朝鮮貿易協會は、本年で滿十周年を迎へたので、これ

近代戰の兵器(二)
軍事

次に、鐵の方面ではその工業力、生產力、資源等を利用して米英特に米國は彪大なる數量を目標に增產に努め量に於いて我を壓倒せんとしてゐることは周知の通りであつて之も決して等閑に附してはならない最近の各種の調査を綜合して考察された結論は大體に於いて米國の生產力も天井をついたといふことである、我國が抑へて仕舞つた

南方資源 ばかりでなく鐵鋼や輕金屬等でも弱點を現はして來てゐる、また人的資源でも可成り困つてゐる樣子だし何等恐れることはないが、何と云つても物的には敵側が有利なる現況であり、我々はこの點、一にも增產、二にも增產、一日として緩みがあつてはならない、いや昨日よりも今日、今日よりも明日と生產能率を昂めて行つて敵の反攻企圖を徹底的に粉碎せねばならないのである

戰局が愈々重大なる決戰段階に突入すると共に、航空決戰の樣相は益々顯著になつて來た、航空戰力の優劣が直ちに全作戰を支配するとまで云はれ各國は航空戰力の增强に全力を傾注してゐる、少しでもいゝ性能の航空

一機でも 機を作り出し 多く生產しようと科學者も技術者も全く一丸となつて一生懸命になつて努力してゐるのである

ところで特に最近航空機における『質よりも量』といふ傾向が見られるが、これは大いに注目すべきことだからまづこの點に就てこれから述べて見たい

元來量と質とは相互に矛盾する關係にあつて之を如何に調整するかが各國齊しく頭を惱まして居る問題である、質を上げるために量を犧牲にすることも勿論ある譯であるが、今日では質の方はもうこれ位でいゝから量の方面をうんと伸ばさうといふのである

その爲に米英あたりでも新しい機種のものはなるべく數を少くして

大量生產 に便なやうに計畫してゐる、また戰鬪機と爆擊機も基本的にはなるべく同一のものとして唯武裝の一部を改裝して質の向上と同時に量の要求を滿たすこととし、或は又戰鬪機を攻擊機に流用したり爆擊機と雷擊機とを共通のものにしようとしたりしてゐるのである

遼河の水は飲料に適す
永井城大助教授 北支各河川の調査報告

…の委囑による城大理工學部土木科助教授永井莊七郎氏ほか滿洲國河川調査隊一行七名は四十餘日間松花江と遼河を踏ひこのほど二ケ月振りに歸任したが、今回の調査で飲料水としての適性が科學的に立證されるに至つた、教授の歸任談

まづ流砂量から言へば、遼河は多い時で水の重量の一乃至二%、少い時は〇・〇五%の流砂量を示すが、松花江は遼河より少く、多い時で一%弱、少い時は〇・〇一%であつた、沈澱度は遼河の方が高く、松花江はなかなか沈澱がし難い、從つて水が綺麗になり難い、また濁度の點では從來遼河の方が高いと言はれてゐたが、今回の調査の結果全く逆で遼河は五十度乃至七十度であるに反し松花江は八十度から百二十度を示してゐる

その他松花江に色度があるに對して遼河には全然色度がなく、流砂量も上流下流ともに同じであることからして、外觀上は濁つてゐる遼河の方が松花江よりは飲料水としては適當であることが判つた、また河床の砂の大きさは遼河は平均直徑〇・一粍、松花江は〇・三粍であつた、普通砂といふのは直徑〇・一粍以上のものをいふが、千分の一粍すなはちミクロンとかミリミクロン等の膠質粒子は河口へ行つて濃い鹹水に逢ふと沈澱するといふ膠質學の理論も實際に突止めることが出來、流砂量に對する膠質粒子の存在量は五〇%內外であつた、北支の河を除き平時は水量は極めて少く流砂量もまた滿洲國の比ではない

地租施行規則一部改正
交付手數料引上

【東京電話】大藏省では現在十錢である土地台帳謄本交付手數料を十月一日より廿錢に引上げることとなり九日の閣議においてこれに必要なる地租法施行規則中改正勅令案を附議決定された、なほ右の引上に伴ひ家屋台帳謄本交付手數料も現在廿錢を同一日より四十錢に引上げることとなりこれに關する家屋稅施行細則中改正大藏省令も近く公布される

村上朝運社長 勇退に決定

朝運社長村上義一氏は、海陸運送事業の一元的統制機關たる朝鮮海陸運輸株式會社(假稱=資本金三千八百五十萬圓)の設立を契機として勇退することになりこのほど辭表を提出、十一月の定時株主總會に附議して正式決定する、なほ後任は鮮內から選任する模樣である

大貯水池着工(滿洲安東)
輕金工場へ完全給水策

【安東電話】滿洲國唯一の不凍港として目下着々實行の步を進めつゝある大同江建設事業の重要な一環たる水道建設計畫は、二千七百萬圓の尨大なる工費を以て一部着工されたが、滿洲輕金屬安東工場の大同江工業地帶への進出決定に伴ひ、同工場への工業用水給水の必要に迫られ同水道の急速なる完成を要することとなり、大同江建設局では今年度追加豫算を交通部に要求中のところ三百二萬四千圓の認可があつたので、近く鐵甲房身貯水工事に着工することに決定した

同貯水池は〇〇平方粁の面積を持ち給水管によつて各工場に給するもので一日の給水能力は實に〇〇萬噸に達してゐるが、差當り輕金屬工場の建設と步調を併せて銳意工事を進め、昭和廿年六月の同工場操業開始に間に合はせることになつてゐる、斯くて大同江工業地帶の水道工事が竣工の曉には各種工場の進出に至大の利便を與へるものとし期待されてゐる、鐵甲房身貯水池の建設によつて、同地一帶には廣大な冠水地帶が現出するので、これが住民處理に萬全を期するため安東省、市、縣當局をはじめ大同江建設局では住民處理委員會を結成するが、同地帶住民は七百戶、九千人程度と見られ水道工事、輕金屬工場の工員に就勞斡旋をするほか、希望者に限り開拓民として南、北滿に移植する豫定である

マカッサル風景(終)

【上】バナナ屋

市內いたるところにバナナ屋がある。或は自分の家の軒下を店として、或は道端に荷を据ゑて店を開くものあり、青青と瑞々しいアンボンピーサン(アンボンバナナ)の素晴しい大房は二十本四十錢、モンキイピーサン(猿バナナ)の黃色い小さいのは一房十五錢と、それぞれお好み次第、だが店番の親爺は客がなければ膝を抱えてうつらうつらと居眠り、客が來ると代金を受取ると又のんきに居眠りを始める。

【下】並木床屋

こゝは、たありんどうの並木床、風は天下の廻り持ち、扇風機いらずの上等席、鋏も剃刀も切れ味上々、ポマードは日本製の一流品、之でたつたの十五錢、仕上げは鏡で御覽じろ、こゝマカッサルでの最新型、さアいらつしやい、いらつしやい。但し夜分はお休みだ、では又明日迄サヨウナラ

(芦遊特派員撮影=情報局檢閱濟)

十月迄に十萬石
江原道早場米出廻り

江原道北部地方早場米の收穫はすでに行はれたが早場米には奬勵金がつくので各農家とも一生懸命の刈入をなし從つてこの出廻りは十日を前後して十月上旬までに行はれるものと見られ道當局では十萬石を豫想してゐる、この早場米を總督府の指令を俟つて京畿その他の道へ搬出する豫定である

商銀臨時總會

普通銀行等の貯蓄銀行業務兼營及朝鮮納稅施設令が實施されることになつたので、商銀では廿五日午前十時より同行に臨時株主總會を開催、右に伴ふ定款變更の件を附議する

莫大小工業創立

鮮內メリヤス製品を統一、供給および圓域諸地域へ計畫輸出すると共に鮮內需要を充足するため、かねて設立準備中の朝鮮メリヤス工業株式會社(資本金二百萬圓半額拂込)は此ほど創立總會を終へ、平壤工場を中心に操業を開始した、同社重役陣の顏觸は左の通り

社長波多野林一▲常務取締役山本實、同市川顯造▲取締役井上毅、田中傳次郎、朴承德、德富淳世、谷川鑑仕、波多野三夫▲監査役石田一郎、油谷福二

四部十五課
日貿機構改革

【東京電話】日本貿易振興會では公益營團設立に對處して機構改革案を檢討中のところ、九日午前十時より丸ノ內工業倶樂部に重役會を開催、機構改革案ならびにこれに伴ふ人事移動を決定、十月一日より實施することになつた

今回の機構改革は部課の配合新設および重役の部長兼務制を採用するもので從來の六部廿課は四部十五課に壓縮强化される

殖銀異動

殖銀では十日附で支店長級主要行員の異動を左の如く發令した(括弧內は舊職)

▲義州支店長代理池田源壽▲調査役(人事課勤務)平野井喜助▲會寧支店長磯山治吉▲原州支店長金谷爾永▲金堤支店長富月僧仁郎▲南原支店長竹村久光▲三陟支店長福尾士卒▲新義州支店長代理窪田納文▲海州支店長代理笠井二郎▲金泉支店長代理梶山蕃▲釜山支店長代理樋口勝三郎▲全州支店長代理佐伯龍司▲釜山支店長代理白川定雄▲釜山支店長代理河合正志▲金堤支店長代理松山岡光▲依願聯原田傳▲休職許可米村鶴吉

隨想錄

伊太利の降伏は、ムツソリーニの挂冠のとき、みんなが豫感したものであつて その豫感が的中したまでのことである▲一緒に歩いてゐたものが、中途で脫落する、そこには一種の感傷はあるが、しかしそれはどこまでも一種の感傷であつて、絕對ではない▲絕對は自分自身を信ずることであり、自分自身の道を信じ、進むことである、日本は『一人の世の正しき道を開かなむ虎の棲むてふ野邊のはてまで』の御製にも偲び奉ることの出來る皇國道を以つて、未だまつろはぬものどもをまつろはしめんとの"すめら"の聖戰に乘出した帝國である、宣戰の大詔をかしこみて拜誦するとき、こんな度の伊太利の裏切りなど一顧だに値しない▲思へば一切の外國依存の時代性を放擲して、日本的思惟に立ち返り、皇國道の實踐をとつてゐる日本に於いて、感傷は許されない▲輝く朝空の太陽を仰ぐと"日の本"のこゝろが心底に湧き、日本を信じ、日本の道の大きく明らかなることを明確に把握することが出來るのである。

繭は我等の彈丸
蠶室は即兵器廠への心構へ
咸鏡北道

【鏡城にて上田特派員發】豐穰の秋を迎へ今や供出戰酣な咸北秋蠶狀況を現地に見る

× ×

共販一萬四千八百八十五貫を目標に增產の火蓋を切つた咸北道の秋蠶は昨年度の共販目標八千二百廿一貫に比べると實に七割增といふ飛躍である、此增產に次ぐ增產は一に咸北農民の時局認識の徹底と

技術の進步 向上を如實に物語る

中部朝鮮にやゝ起ち遲れたりとは云へ決戰時局、一日も早く"養蠶朝鮮"の水準までのしあげようといふ『戰ふ咸北蠶業』への眞劍勝負の一つでもある、秋蠶掃立枚數五千八百九十一枚に對し、六千六十八枚といふ率先よき戰果も正しく指導者と農民が一體となつてこそ釀み出した戰果

如何に咸北が養蠶の再建に官民とも眞劍であるかが窺へる、道立原蠶種製造所の養蠶指導員特別養成、特別指導養蠶部落の設定、新興養蠶部落の設置、製繭競技會、桑田品評會、供出共進會、綜合審査會など

地味な生產 部面だけにその施設、督勵にも並々ならぬ苦心の程が見える

"物"が勝つか"人"が勝つかの決戰下"一を十にせよ""無を有にせよ"と喝破した東條訓をそのまゝに養蠶咸北は今指導者と農民が渾然一體となり繭繭增產に"智"と"體"を總動員して戰つてゐる

× ×

貿易戰華かなりし頃外貨獲得の尖兵だつた繭、農家更生對策の副業的存在であつた繭、すべて今は過去の夢で、直接米英擊滅の彈丸となり、兵器と化した、見よ、天降る空の神兵の落下傘を……翔け!敵巨艦轟破のあの勇姿を……これみな繭が釀み出す糸であり、繭爆彈なのだ、"繭即彈丸"これが咸北養蠶指導の要諦なのであるそして

默々と挺身 農民はたゞ只管お國のためにしてゐるのである、もう養蠶は農家經濟の副業的存在ではない、お國への義務的副業なのである、共販代金を國防獻金に捧げた幾多の愛國の農村婦人もゐる、この標語こそ、農村婦人の心底を衝き、雄々しく起たしめた

今年の春蠶終了と共に道當局では養蠶農家へ感謝の人絹織物を贈つたところ

農村婦人は 口を揃へてこんなものを貰つては勿體ない養蠶は私たちの義務であり御奉公なのですと斷つたといふ、この聖なる至情この心意氣こそ"養蠶咸北"の持つ唯一の氣强さであり抵抗力なのだ

食糧の增產に、繭繭の增產にと農村婦女子をこれまでに奮起せしめる至つた指導者の苦心はまた實に涙ぐましい敢鬪の連續である

…をかなぐり捨てゝこの地味な養蠶の戰へ農村乙女は突き進むと突入、戰ひは一段と活潑さを加へ、技術は目に見えて進步向上して來た、これら愛國の純情に燃える農村乙女の蹶起によつて初めて養蠶咸北は若返り養蠶朝鮮の水準突破も彼女達の雙手で成し遂げられるのだ

上は道幹部から下は部落指導員まで雨の日も風の日も、部落常會に養蠶農家懇談會に或は婦人講習會にと十里、廿里の道を遠しとせず足を運び、先づ時局認識の徹底をはかり、次いで"共販も先づ飼育から"を旗印として桑田の改良

蠶室蠶具の 改善指導に東奔西走、蠶室溫度はどうか給桑狀態はどうか――と恰も指導者自身が直接養蠶をやつてゐるかの如く身を挺して一軒一軒、手にとるが如くに指導督勵に當つてゐる

鏡城郡では雨が降ると指導員を一齊に出張せしめる、これは濕熱或は溫度の急變を氣づかつての親心からである、降りしきる雨を衝いて、指導員は道なき山を越え、橋なき河を渡つて晝なく巡回指導にあたつてゐる、この熱、この誠心に動かされないものはない、こゝに初めて"養蠶咸北"は軌道に乘つたのである

養蠶一戶最高六十五圓五十八錢、平均一戶三十圓を擧げた咸北の特別指導部落であり、また

模範部落で もある鏡城郡鏡城面九德洞、鳳南洞などを訪ふ

蠶で作つた蠶箔、蠶で作つた蠶…―どの農家も自作ものとは思はれない出來榮えであり、秋蠶も非常に成績がよい、蠶室に掛けられた聖戰標語は技術の進步を裏付ける養蠶咸北の表徵でもある

九德洞區長林義昆氏の愛娘みつるさん(二〇)は養蠶の重要性を聞いてお化粧を捨て眞先にこの地味な蠶ひへ飛び込んだ養蠶戰士である、彼女の居室を割いた蠶室は何もかもよく行き届いてゐる

モンペの作業衣で記者を迎へ『蠶が兵器になるなんてとても愉快です』と一發々々彈丸を磨く兵器廠の女子工員の如く一匹の蠶、一箇の繭にも心血を注いで選別に餘念がない『徵兵制が發表されてから

農村婦人は 急に起ちあがりました、特に養蠶に對してはその現れが顯著です、この蠶がやがて召され征く倅や兄、弟の戎衣となり、彈丸となるのだとの信念に燃えて默々と挺身してゐるます』と同行技手は語つた

或る農家では寢室や台所を割いて蠶架を設け增蠶に拍車をかけてゐるところもある熱心さだ、鳳南洞の模範養蠶農家高山希允さんの家など"蠶の家"といつてもいゝほどどの部屋もどの部屋も蠶で一杯である、辛うじて蠶架の下で寢られるといふ程度である

北鮮特有の不連續な天候のため咸北本秋蠶の出來作は辛じて目標に漕ぎつける程度と見られてゐる、よく

この惡條件 を克服し、目標まで漕ぎつけ得られるのも指導者と農民の精神的結合の結晶に外ならない

或るところでは氣溫急變のため全滅に近いところもあるといふ、また全滅した農家ではわざわざ郡廳に出掛け折角の蠶を手ぬかりのため全滅させたのはお國のため甚だ申譯がない、來春蠶はきつと倍にして御返し致しますと詫びに來た老婆もあるといふ、聞くもの、見るもの、みな蠶繭報國の生々しい戰ひの記錄である、"一を十にせよ"の東條訓の眞理はこの蠶繭報國をもつて證明づけられるであらう

咸北原蠶種製造所ではヒマ蠶の飼育研究にあたつてゐるが、なかでもヒマ畑や桑畑の放飼は成績極めて良く、ヒマ蠶飼育に

新機軸を劃 するのも近い、また道種畜場では蠶の蛹による緬羊飼育について特別研究を行つてゐるが、この蠶蛹で飼育した緬羊は必ず双生仔を產むといふ朗かな研究話題を提供してゐる

かくして極く最近まで餘り捗々しくなかつた咸北の養蠶業は不適地の烙印を一蹴して時局と共に軌道に乘り、時局の進展と共に發展進步しいまや養蠶咸北の再建も間近にある譯だ

養蠶咸北の農家は蠶繭增產のため捨身である、或るところでは肥松を燃やし、或るところでは學童の古帖をほどいて蠶のムシロにしてゐる、ローソクと古新聞紙がないのだ【寫眞=蠶箔作り】

證券市況(十日後場)

東京長期

銘柄	先引	銘柄	新
鐘紡	一二八・五	鐘新	七一・五
帝人	—	帝人新	[illegible]
大東紡	—	東亞麻	[illegible]
日立	八七・四	日立新	[illegible]
日工	一二三・二	不二越	[illegible]
昭和電	九一・一	日窒	[illegible]
塩糖	—	同新	[illegible]
日鐵	—	同新	[illegible]
石川島	一六六・四	同新	[illegible]
洋鉛	—	[illegible]	[illegible]
新三	一四・六	三菱重	[illegible]
兵器	—	三菱鑛	[illegible]
東製鋼	一〇四・五	中支	[illegible]
石原	—	鋼管	[illegible]
高周波	—	鐘城炭	[illegible]
鐘淵新	—	池貝自	[illegible]
北炭新	[illegible]	王子紙	[illegible]
東洋ベ	[illegible]	砂鐵	[illegible]
日曹達	[illegible]	古河電	[illegible]
滿工	[illegible]	東曹達	[illegible]

時局防空必携 5

朝鮮總督府

其の三 空襲警報が發令されたら

一、家庭

1 防空用服裝を完全にする
2 門、倉庫、物置等の鍵を外す
3 火元を始末し、ガスは元栓を閉める
4 ホースがあれば水道の蛇口にしつかりとりつける、水道の水は防水用には使はない
5 隣家に接した雨戸や硝子戸は、延燒防止のため全部閉める、但し鍵はかけない

隣家に接しない硝子戸は破損防止と危害豫防のため、なるべく取り外すか開放する、開放した場合雨戸や窓掛が附設されてゐれば、硝子戸のある部分に雨戸や窓掛を引く、爆弾に因る硝子破片の飛散防止のために、紙等を貼つて置くのも一方法であるが、爆風の威力の程度や又場所によつては尚飛散するから、十分注意して危害を避けるやうにせねばならぬ
6 家の中の襖や障子を取り外して、邪魔にならない所に片付けるか開放する
7 防空活動の出來ない者を防空壕やその他安全な場所に避難させる
8 家財道具は持ち出してはならない
9 夜は空襲管制をする、すべての處置がすんだら家庭の責任者は今一度點檢し、防護監視員以外の防空從事者はすぐ待避出來るやう屋内に在つて待機する

二、愛國班

1 班長は速かに班内に警報を傳達する
2 班長は防護監視員を配置する
3 班長は空家や倉庫を警戒させる
4 班長は班内の狀況を點檢し、不備の點を完全にする

其の四 敵機が來たら

1、防護監視員は緊急警告が發せられた時又は敵機を見たり、爆音や砲聲を聞いたら、その樣子を班内の者に大聲で知らせる
防護監視員は危險が迫つたら豫定の待避所に待避し、その後の樣子に注意し、危險が去つたら次の空襲に備へて防護監視に當る
2、防護監視員の知らせによつて、その他の防空從事者はすべて豫定の待避所で待機す
3、連續して空襲を受けることもあるから防空從事者はこの點に注意し油斷があつてはならぬ

農村はかく戰つてゐる
勞苦犒ふ特配綿布
優良米穀供出部落へ
今年も實施

稔りの秋を迎へて食糧増産の赤誠に燃える農村は、過ぐる一年の勞苦に酬いられた結實の歡びに勇みたつてゐるが、これから收穫の後穀供出優良な部落に對しては綿布を特配、日夜増産に挺身しさらに供出するの勞を犒ふこととなり十日、總督府では左の如く當局談を發表した、今年の稻作は植付當初比較的順調な天候に惠まれ農作物全般に亘つてほぼ平年作程度の收穫を豫想されたが、その後中鮮地方の旱魃によつて幾分の減收を免れぬ情勢により、十九年度米穀はさらに消費規正、或は全幅の協力によつて一粒でも多くの米を供出、穀倉半島の名譽にかけて帝國全體の食糧に貢獻するものである

當局談 昭和十八米穀年度における食糧事情は前年稀有の旱害に依り眞に憂慮すべきものがあつたが鮮内にあつては官民一致總力を擧げて之が克服に努むると共に中央、軍、滿洲國等よりの絶大なる援助を受け此の難局を無事切り抜けて參つたとは誠に同慶に堪へぬ處であり同時に各方面の援助に對しては衷心より謝意を表する次第である、本年播種並に植付當初に於いては比較的順調なる天候に惠まれ農作物全般概ね平年作程度の收穫を豫想されて居つた處其の後中鮮地方の旱魃に依り幾分の減收は免れぬものと想はれるが近時益々苛烈の度を加へ來つた戰局の樣相に鑑み來る昭和十九米穀年度は更に消費規正其の他全幅の協力に依り一粒でも多くの米を供出し以て帝國全體の食糧に貢獻しなければならぬと考へてゐる次第である、而して日夜増産に挺身し供出に努めらるゝ農民各位に對し聊かなりとも其の勞を犒ふ爲從來時に據穀供出成績優良なる部落には綿布、明太魚、ゴム靴等生活必需物資の特配を實施致してをつたが昭和十九米穀年度に於いても米穀の供出優良なる部落に對し綿布の特別配給を實施することゝ致した、農民各位並に關係方面に於かれては右の意のある處を諒承せられ増産に供出の完遂に今後更に一段の協力を切望する次第である

十二億攻略に一役
天引貯金率も引上げ

食糧増産に挺身する一方、本年の貯蓄目標十二億圓達成にも一役買つて貰はうと籾を賣つた時の天引貯蓄率を引上げるべく農林局と財務局で協議中であつたが成案を得たので九日兩局長名で各道へ引上率を通牒した
新しい天引貯蓄額は籾一叺當り三圓七十錢となり昨年から較べると一躍二圓引上げられたことになるが、これを内譯にしてみると二圓廿錢(從來は一圓七十錢)で殘る一圓五十錢は今年から生産者に支給される玄米一石に對する補給金十圓のうちから貯蓄させるのであるから實質的には百姓の負擔増加にはなつてゐない
玄米、白米にして賣る場合には一叺五圓九十錢であるが貯蓄方法は小作米を地主が供出した際に二圓廿錢だけ天引きして地主名儀の預金口座にして、小作人に金融組合から補給金を支拂ふときに一圓五十錢を貯蓄として差引き小作人名儀の据置預金口座に振込むことにしてゐる、小作米以外の生産者が直接賣る場合は代金、補給金を一緒に拂ふから三圓七十錢を天引いて支拂ふ、預金期間は一年以上の据置きとしてゐるが、成るべく預金者の希望を容れてやるやうに注意してあり、貯金通帳もなるだけ早く交付し、百姓の間に天引貯蓄は自分のものにならぬなどと誤解することのないやう取扱上手落ちのないやう注意してゐる

公共、學童用も
防空待避所を増強

暴虐なる敵はわが國を狙つてゐるこれに對處して防空陣をさらに強化し空襲の危險から人的資源を護らねばならぬ、總督府では十四年以來防空待避所設置を指導督勵しつゝあつたが現在のまゝではこれからの防空情勢に對處して充分でないので待避所の全幅的増強をはかることゝし防空待避所設置要領を決定十日警務局防護課より發表された、しかして右設置要領により待避所を設置するがとくに強調すべき點は次の通り
一、通行人あるひは汽車その他乘降者その他公衆のための公共待避所を設けること
二、家庭待避所のほかに工場勞務者、學校、生徒、兒童、港灣荷役勞務者などのための待避所を全員收容し得るやう増設することなどであつて、これで設置に當つては學校總力隊、勤勞報國隊など奉仕的勤勞をはかり適當な場所に資材その他あらゆる障害を克服して速かに完成を急ぐやう當局は要望してゐる

大空へ羽搏け
本社主催 講演映畫の會

熾烈なる航空決戰下に迎へる廿日の第四回航空記念日を控へ本社では空への壯なる意欲を昂揚するため十二日午後二時から京城府民館に講演と映畫の會を開く、講演は朝鮮軍中川大尉の〝航空決戰の眞相〟映畫は東寶が海軍省の絶大なる後援によつて製作した『決戰の大空へ』の特別招待試寫である
同映畫は少年航空兵搭乘の聖地たる土浦海軍航空隊を主題にし荒鷲魂の育成ぶりを餘すところなく描き出したもので特に同試寫會には決戰の空に羽搏く學鷲を慈愛の眼指しで見守る府内大學、專門、中等、國民各學校の教員を招待してその勞を犒ひ鋼く學鷲を薫育錬成する上に必要なる航空知識涵養に資するものである

すわイカ群來襲
秋漁期に朗報頻り

半島漁業に朗報頻る—秋の最漁期に入りサバ、アジの大群が去る三、四日頃から全南巨文島を中心にどつと押寄せた、一方『イカ』の大群も江原道沿岸浦項から口江の線に押し寄せたがこの方面にイカ群の漁をみるとは半島では最初のことであり鱈に替るイカとして漁民を喜ばせてをり八月頃から約百五十萬圓以上の漁獲高をみてをり〝スルメイ〟〝鹽カラ〟等に加工してゐる

第七回全鮮指導者中央禊錬成會

國民總力朝鮮聯盟で引續き實施中の全鮮指導者中央禊錬成會はその第七回を十五日から十九日迄温井里金剛山道場で行ふが、今回の講師として朝鮮火災保險會社々長鈴川壽男氏及び朝鮮神宮權宮司竹島榮雄氏が出講する

第二次學徒海鷲の檢査始る

【〇〇電話】われこそは空の決戰の勇士たらんと蹶然學窓から海鷲に應募、首尾よく第一次檢査を通過した本年度海軍飛行豫備學生志願者は十一日から二十日までの間に實施の第二次檢査受驗のため十日その第一班〇〇名が全國各地から〇〇航空隊に入隊した
この日〇〇驛前は、はずむ心を押へて續々參集した學生服姿の志願者が長蛇の列をなし卅分置きに發車する航空隊行のバスに乘込んで行つたが、同隊ではこれら受驗者を收容するため兵舍の一部雄飛館(營内酒保)の三十疊、五十疊敷の大廣間に寢棚へ宿舍の準備を整へた
やがて憧れの營門へくゞつた受驗者たちは目の邊りに見る颯々とした訓練場、立並ぶ兵舍、滑空機、格納庫そして空翔ける眞紅の練習機の爆音などに入校の日を夢見る感激に心をはち切れるばかりにふくらませ胸を張つて、定めの場所に集合、先輩の雛鷲たちの溫い世話や『しつかりやれ』の激勵に『きつと通つて見せます』ときつぱりと誓ふのであつた、かくて午後二時第一班全員の集合を終り宿舍の割當も決つて一同は明日から行はれる嚴密な航空搭乘員適性身體檢査を待つばかりだ

赤襷も凛々し
阿部本社元社長の胸像獻納

赤襷の姿凛々しい胸像が十日午後五時京城海軍武官府の正門をくゞつた、仇敵米英の最後の息の根をとめようと勇躍出征の本社第四代社長阿部充家氏(號無佛)胸像の勇姿である—同氏は本社長に就任するや寺内總督の下に半島同胞の民度向上、東京中央朝鮮協會の設置など大なる貢獻をなし、内外の信任篤かつたが、その胸像は昭和十一年同氏の遺徳を偲ぶ無佛會から本社に寄贈されたものである、本社では故人の志をついで獻納することに決定、大詔奉戴日の八日に獻納奉告祭を嚴肅に執り行ひ、十日馬車に移され、中道本社員に護られ武官府に運ばれて西田少佐を通じ、獻納の手續きをとつた

〝荒洋征覇〟勇し幟
内地から海洋筏來る

【釜山電話】内地朝鮮間に再び揚る海洋筏の凱歌……十日午前十一時過ぎ釜山港沖遙か彼方に船體を浮かして約三時間山林王國宮崎縣から切出された七千四百石二千本の杉、赤松、檜等造船用材の海洋筏がぐんぐん港内に迫り埠頭近くで鮮かに大きく轉回したかと思ふ間に曳航船鐵南丸からガラガラと錨が降ろされ、岩山のやうな巨體は午後二時半牧ノ島〇〇に横着けされた、この壯途を祝ふべく馳けつけた朝鮮木材釜山支店長稲田茂十郎氏始め久武慶南道高等課長、中島釜山署長、徳永海事所長等一同聲を合せてお目出度う、御苦勞さまの連發だ、感激の一瞬だ、朝鮮木材副參事上田哲二氏は長途の筏乘りにいさゝかの疲れも見せず、早速解體作業を指揮すると言ふ精勵振りである、筏の胴體に立てられて海風にはためく『海洋神の御加護』…『荒洋征覇必達』と大書された幟が〇時間〇浬の太平洋を乘り越えて來たかと思ふと何かしら大きな感激に打たれるのであつた、筏は幅六十尺、長さ二百六十尺、浸水四米といふどえらい巨體だ、中には樹齡卅年、價格にして一萬圓もする龍頭山神社御造營用の神木もあり卅三萬府民の感激は一入深いものがある、今度の海洋筏を指揮した上田副參事今村鐵南丸船長は無事責任を果した感激を次のやうに語つた
荒洋作業中は非常に荒れて相當困難を感じたがいよいよ出發といふときになると浪は靜まり全く好天候に惠まれ對馬へ來る前後少し荒れただけでした、お蔭で低氣壓で後押しされながら來たやうなものでなんの不安もなく無事責任を果しました

司法保護を語る
本社主催座談會 2

前途に〝光〟を與へよ
感じ易い思想發生期の年頃

本社側 仙甘島は思想といふより、その前期あたりでせうね

藤井祥一氏 あの子供達はさういふ意志はありませんね、みんな腹一杯食へばいいといふ連中ばかりです

本社側 やはり思想前期の者でもその儘放つて置いたら大變なことになるといふところに仙甘島の事業もあると思ふのですが

藤井氏 さうです、仙甘島には現在二百五十名、その中で國民學校に通學してをつた者が約六十名で、あとは全部不就學の子供ばかりです、したがつて國語を解する者も二百五十名中百人内外でありますので、今は誰方が來られても聞くことは誰でも出來ます、それから浮浪兒ばかりですから、一體どういふ性質を持つてゐるといふことが職員全體の不安であり半面興味でもあつたのですが、實が非常にいゝのにびつくりしました、ですから二百五十名の中で先づ二百名位までは普通の子供であつて決して異常兒ではない、適當な指導さへ與へればある程度の進展は十分に遂げられるものだといふ見通しがついてをります、殆どが普通兒であります、普通兒が環境からさういふ風になつたのでありますからこの種の子供は教育すれば相當よくなるものと思はれます、たゞ先程もお話が出ましたやうに光明を與へるといふ點が必要です、子供は俺達は一體何時までこゝに置かれるのだらう、出されるときは何處に出されるのだらう、かといふ不安の念を持つてゐるために島を逃げ出すやうな氣持も起つて來るのでありますが、最近非常に都合のいゝことに某會社から連續的に生徒を呉れないかといふ交渉を持ちかけて來ましたのです、最近その會社にあたつて續々出さうと思つてをります、この話を漸々子供に話しましたところ、非常に喜びまして〝先生もう逃げません〟といふやうなことを言つてをります

本社側 そんな子供達は大東亞戰爭といふものをどれ位心に持つてゐるのですか

藤井氏 各室に地圖を掲げて殆ど朝鮮新聞によつて說明してやりますし、また朝會などで戰爭認識をうんと注ぎこんでをりますが、勝たなければならないといふことはみんな考へてゐるやうです

本社側 そこで一番重要時期である思想發生期に於ける青年學生の教學といふ問題について増田先生一つ

増田法專校長 檢事局にをられた伊藤檢事さんの調査に依ると一年に犯罪前科者の四十%が再犯を犯してゐる、つまり半年經たぬ中にまたやつてゐるといふことになる、それでたゞ犯罪人を保護するよりも刑務所から出たての者をよく見た方がよい、それよりもまだ効目のよいのは執行猶豫を受けた者、それよりも有効なのは起訴猶豫を受けた者、かういふやうに一般保護の方で言はれてゐるのですが、成程さうだと思ひます、更にこれは檢事と裁判所、保護になるわけですが、もう一歩進めて保護が大事である或は治安が大事であるといふ前に教育が大事であるといふことを朝鮮でももう少し認識してもらひたいのです
從來の朝鮮の統治の歴史を見ると治安第一といふことを警察署長會議でも總督から言はれる、或は最近では産業第一であるといふところまで進んで來てゐるやうに思ふ、私は治安も産業も大事であるが、もう少し教育といふものを眞面目に考へて我々と協力してもらひたいと思ふ、世の中の識者は教育を批判したり教育者を輕蔑したりするけれども、教育の大事なことを考へて教育者に對し親身になつてもらひたい
先般内地の專門學校長會議に我々朝鮮の專門學校長が全部參りましたが、その時の話では内地に居る朝鮮人學生はその二パーセント位しかない、ところがその少い朝鮮……

日々を反省せよ
穗積商議會頭さく夜放送

穗積商議會頭

戰局は愈々重大、擊ちてし止まむの決意を益々昂揚するとき半島二千五百萬は前線の勇士を偲び果して銃後の守りは完璧であるか、その日その日を振りかへつて反省する必要があらうと十日午後八時から京城放送局から〝小さな事の大きな効果〟と題し京城商工會議所會頭穗積眞六郞氏は愛國班常會につぎの如く呼びかけた
時局は次第に切迫して參りまして一億一心いよいよ團結を固くすべき秋となつて參りました、もともと舉國一致は日本の傳統でありまして日清日露の戰役にもあれ程輝しかつた戰果が宣戰の御詔勅が下ると同時に從來只今の正午の默禱時間のやうに一瞬にして鳴りを靜めてたゞ外敵殲滅の念に歸一したのであります、今次の大戰に於ても昔乍らの傳統に少しのゆるぎもなく

一億一心 只管米英殲滅に邁進して居るのであります、併し大きな事をなし遂げますにはいやが上にもよく備へを固めておく必要があります、今日銃後の私共の務めの中に生産の増強と言ふ大きな仕事があります今や産業戰士は渾身の力を振つて増産に從事して居ります、我々も出來得る限りの工夫をして増産を助けて居りますが、併しこの上もう一段の務めとして心得べきことは出來上つた物を必要な戰地に一日でも早く届けて上げる工夫であります最初に申した通り外敵に當る團結心は日本では

傳統的に 出來上つて居ります、併しこの戰時下に於ける我我の日常生活が非常に氣持良く一つ心に結びつけられてゐるかと言ふことについてはもう一度考へて見る必要があると存じます、戰爭のため氣がいらだつ、物資は次第に不足するといふやうな譯でお互の日常生活は何となくいらだしくなつては居ないでせうか、からいふいらだたしさは一億一心を完全にするといふ點からも考へなければなりませんが特に今度の

戰爭では 狡猾な米英はこんな點にまで隙をうかゞつて國内の治安をみださうことに努力しますから國民としては餘程氣をつけねばならないと存じます、このいらだたしい心を取除くためには、お互が時局をわきまへ相手方の身になつて考へながら生活して行くことが大切と思はれます、言ひ換へれば戰爭と言ふことを心の根本に入れてお互に親切を盡して行くといふことであります、商店のお店の方でも電車の乘務員でもお客様でも戰時下に於ける

親切心を 發揮して行つたならば米英の魔手も窺ふ隙なく一億一心が全く完成することゝ存じます、親切の極致は心よく我慢することによつて相手の心まで和げるものであります、私共はこの大戰爭下にお互親切を盡して日常生活を和かに以て一億一心を完成すると共に外敵に乘ぜられる隙を少しでも作らないやうに努めようではありませんか

〝一路文報へ〟
津田氏の土産話

第一回大東亞文學者大會に出席した朝鮮側代議員津田剛氏は鮮滿各地代表に混れて十日歸城したが大會の土産話を次のやうに語つた
私は翼贊會並に興亞總本部、情報その他内地文學界の各關係方面と連つて協力較ふ半島を紹介した、特に半島に於ける徴兵制實施は各方面の注目の的となつてをり、從つて半島同胞の皇民化に深く感銘してをるといふことが感じられた、なほ私は翼贊會の斡旋で〝朝鮮の現段階〟なる講演をしたのであるが講演が終つてからお互に朝鮮問題を議論し合つたことは大きな收穫であつた、今後この深い感銘をもつて決戰下、半島文學界のために大いに努力する覺悟である、今回の大會は非常な盛況裡に終つた、色々とそれぞれ特有の文學形態を論じ合つたとは各國代表共通の收穫であつたと思ふ、半島朝鮮研究委員會をはじめ内地各方面の御多分の接待に感激するものである

遭難兒童へ弔慰金殺到

永登浦區役所坪町聯盟學院の遭難兒童に寄せられた弔慰金(八日現在)
三百卅五圓=中等學院向上會▲百圓=鐘淵紡績株式會社、京畿衆議事務所平尾補一郎、楢田浩雄▲七十七圓=永登浦國民學校▲五十圓=長谷川修一▲卅四圓五十八錢=京城徽文學校▲卅五圓=京城醫理學院、金浦陽川公立國民學校▲卅圓京城…

本社寄託獻金

十日受付

國防獻金

【陸軍】▲二十四圓三一同▲十五圓仁川府松林二松林公立青年特別錬成所…
【海軍】▲五十圓…

恤兵金

總計 百十九萬九千…
總合計 百四十二圓八錢

京城日報 夕刊
京城府中區太平通一丁目三十一番地 發行所 合資會社京城日報社

現物取引へ免許制
十五日から實施、六ケ月を猶豫
有價證券業取締令公布

低價買入を抑制
水田財務局長談

保有者の租税輕減
朝鮮社債等登錄令公布

……者に對し租税上の特典を與ふる等の爲新たに社債等の登錄制度を設けんとするものである。即ち本令に依り登錄機關に登錄した公社債等の保有者は朝鮮臨時租税措置令に依り第二種所得税及資本利子税を輕減せられることとなり其の結果長期貯蓄の獎勵及び金融機關の資金の合理的運用に資することとしたのであるが本制度は又社債等の發行手續の簡易化、高級印刷能力の節約等に資する所も尠くないのである

朝鮮社債等登錄令は必要なる特例規定を設くるの外全面的に社債等登錄法を依用してゐるので法令の内容に亘り詳說することは省くが、同法は目的、登錄機關、登錄の請求、登錄と債券の不發行、登錄を爲したる社債の移轉等と其の對抗要件、登錄を爲したる社債の元利支拂の方法、登錄の抹消、社債登錄簿、登錄機關の監督、報告徵取權及檢査權、罰則及公務員に關する規定等に關し規定してゐる

又同法は社債以外の地方債、特別の法令に依り設立せられたる法人にして會社に非ざるものの發行する債券及命令を以て定むる外國又は外國法人の發行する公債又は社債にも準用せられ社債以外の此等の債券に付ても登錄を爲し得るのである

次に内地の社債等登錄法と朝鮮社債等登錄令との關係に付き……

ムンダの敵陣連爆
コロンバンガラ 來襲機八を擊墜

【○○基地九日同盟】ソロモン群島方面の戰局は連日熾烈の度を加へてゐるが、わが海軍航空部隊は前日に引續き八日薄暮ニュージョージヤ島ムンダ方面敵陣地を強襲、前後五回にわたり敵地上部隊に猛攻を加へ敵陣地を爆碎全機無事歸還した、さらに九日朝敵は戰爆約九十機をもつてコロンバンガラ島のわが陣地に來襲したが、わが地上部隊はこれと交戰、その八機を擊墜、他を悉く擊退した、わが方の被害は一機であつた

輸送船二隻を擊沈

【南太平洋方面○○基地十日同盟】ニューギニヤ島東方々面に索敵攻擊を續ける帝國海軍部隊は去る七日夜サラモア沖合において輸送船團を發見、機を逸せず敵直衛機の抵抗を排除しつゝこれに爆擊を加へ中型輸送船一隻を大破、他を潰走せしめた、わが方の未歸還機一機を出した、引續き八日ラエ沖合において敵海上トラック、小型舟艇群合計十一隻を發見、直ちにこれを急襲、海上トラック一隻を轟沈、他を遁走せしめた、また同日夜間サラモア沖に輸送船團を發見し、このうち二隻を擊破した、わが方の被害なし、さらに他の一隊はラエ東方敵揚陸地點を爆擊したが夜間のため戰果は不明

トナミラ、マッピ（ニューギニヤ メラウケ北方）猛襲

【南太平洋方面○○基地十日同盟】帝國海軍航空部隊は五日午前ニューギニヤ島の西南メラウケ北方のトナミラならびにマッピに對し攻擊を加へトナミラにおいて飛行場附近に銃爆擊を浴びせて一ケ所を炎上、マッピ方面では兵舍その他の軍事施設に銃爆擊を加へて二個所を炎上せしめ他を爆破した

比島憲法草案
代表者會議で承認

【マニラ九日同盟】比島憲法草案を承認すべき特別全國代表者大會は行政命令に基きて六、七の兩日に亘りマニラ市舊國會議事堂に開催され七日正午を以て成立した

闘ふ滿洲國【5】
戰車工場

……の兵站として逞しい滿洲國の威力は農產物や鑛產だけではない、飛行機、自動車、戰車はじめ機械化兵器の生產も最近著しい發達を遂げてゐる……

……たる將兵の必勝の信念と共に強大な機械化兵器の生產力があることを忘れてはならぬ、海を距てた日本から、尨大な戰車や、大砲を送るには尨大な輸送力を要するが現在……

要地占領、警備接收
獨軍の行動着々進む

【ベルリン九日同盟】獨統帥部は九日正午『フランス南部、イタリヤ本土、バルカンなど獨軍と伊軍が肩を並べて戰つてゐるところは何處でもバドリオ政府の反逆行爲に對する必要な措置は悉く採られ豫定の計畫に從ひ行動してゐる』と發表、さらに獨軍當局は同日夜獨軍部隊は地中海の海岸線とくにフランス南部、獨伊兩國の國境地帶ならびに東南歐洲における警備および軍事施設をイタリヤ軍から接收した、獨伊兩國軍の間には多少の衝突が起きたが、獨軍の行動により平靜に歸したと言明した

【リスボン九日同盟】ベルリン來電によればドイツ軍當局はドイツ軍がイタリヤ北部の要衝を悉く占據した旨言明したが、ステファニ通信の電信局によればドイツ軍はジェノア港ならびに同市の工場地帶を包圍、同市に至る三本の幹線道路は遮斷されたと傳へられる、またドイツ軍はジェノア港を見下すサン・ギューリアノ高地を占據しストルフの兵營を占據したと傳へられてゐる

北伊の治安は完全
伊軍一部、獨軍へ參加

【ベルリン九日同盟】イタリヤ國内の情勢につきドイツ軍當局は九日次の通り言明した

◇

ドイツ軍が保護を加へてゐるイタリヤ國内各地においては完全に治安が維持されてをり特にイタリヤ北部においてはドイツ軍が重要な軍事施設ならびに公共機關を接收極めて平穩である、鐵道線に對してもドイツ軍が警備に任じてをり各工場は平常通り操業してゐるイタリヤ北部その他各地においてドイツ軍とイタリヤ人との關係は極めて友好的でイタリヤ軍は大抵の場合には自發的に武器を引渡してゐる

イタリヤ軍がドイツ軍に參加した例も少くない、中部ならびに南部におけるドイツ軍の兵站線も完全に保護されてゐる、また東南歐洲からの情報によればドイツ軍陸海空三軍部隊が從來イタリヤ軍の擔當してゐた防衞戰線を接收したが何らの事件も起らなかつた、イタリヤ海軍部隊の一部も同樣ドイツ軍に參加した

伊、軍事資材引渡

【ベルリン九日同盟】ベルグラード來電＝ドイツ軍は八日夜ベルグラード駐屯イタリヤ軍の武裝解除を斷行したが、何らの紛爭もなくイタリヤ軍は武裝彈藥その他の軍事資材を引渡した

獨伊國境、一般市民へ閉鎖

【ベルリン九日同盟】イタリヤ傀儡政權の降伏とともに一般市民がドイツ、イタリヤ兩國の國境を通過することは一切禁止されるに至つた

エウフェミヤ 英軍の殲滅迫る

【ベルリン九日同盟】ドイツ軍當局は九日『カラブリヤ州のエウフェミヤ灣に上陸した英軍はドイツ軍の包圍を受け將に殲滅に瀕してゐる』と言明した

瑞西軍動員
獨伊國境急派

【チューリッヒ九日同盟】スイス政府は九日主として國境警備軍の部分的動員を斷行した

【チューリッヒ九日同盟】スイス軍が國境へ急派されたとの報道に關し、スイス政府は九日正午『右措置はスイス南部國境に對する警戒措置として採られたものである』旨發表した

在留邦人無事
羅馬市内平靜

【チューリッヒ九日同盟】九日チューリッヒに達した當局筋の情報によれば無條件降伏發表後のローマ市内は平靜で、帝國大使館員初め在留邦人は全部無事といはれる

退去に便宜
伊政府言明

【リスボン九日同盟】イタリヤ傀儡政府が降伏した結果、ローマ在留卅餘名の在留同胞の消息が全く杜絶えるに至つたが、ローマからのステファニ電報は九日次の通り報道してゐる

イタリヤ政府は休戰締結後、ローマ駐劄の各國代表に對しローマを立ち去ることを希望する場合には出發につき便宜を提供する用意ある旨通告した、ドイツ大使館、クロアチヤならびにスロバキヤ兩國大使館に對しては特別列車が提供され、一行は一旦イタリヤ外務省の代表附添の下にローマを離れたが技術的な理由により列車はローマ驛に立返へるほかなきに至り、再び出發出來るのを待つて目下待機してゐる

萬全の手配
駐伊獨軍は新兵器裝備

【ベルリン九日同盟】ドイツ軍當局は九日次の通り言明した

イタリヤ國内には幾多のドイツ軍師團が駐屯してをり、これら師團は最新銳の兵器を裝備してゐる、ドイツ軍は防禦に萬全の手配を施してをり反樞軸軍が傀儡政權の裏切りによつて企圖した戰果を收めることを絕對に許さぬであらう

反逆を排し忠誠を
ファシスト國民政府 全國民に布告

【ベルリン九日同盟】チャソツ來電＝ファシスト國民政府は九日ラジオを通じてイタリヤ全國民に對し布告を發したが、續いて陸海軍將兵ならびに在外イタリヤ勞働者に對し布告を行つた、要旨次の通り

陸軍に對する布告

反樞軸軍は反逆者バドリオと共謀して諸君を傀儡しドイツ軍と戰はせようと圖つてゐる、バドリオ政府の命令はイタリヤ軍將兵を何ら拘束するものではない、反逆を排擊し祖國に忠誠たれ、事情を許す限りドイツ軍に投じ義勇軍を組織せよ、諸君はドイツ軍と肩を並べて戰ひ侵略軍に對し諸君の勇武を示さなければならない

海軍に對する布告

反樞軸軍は諸君に艦隊の明渡しを要求してゐるが、祖國を愛する諸君は自己の部署に踏止まりファシスト國民政府からの命令を待たなければならない、港灣を離れる艦艇はすべて敵と見做しイタリヤ國民軍は直ちに攻擊を加へて擊沈するであらう

在外勞働者へ布告

イタリヤ勞働者はドイツにおいて價値ある事業を達成してをり、ドイツはこれを深く感謝してゐる、諸君は平靜な態度を持してドイツ國民との友好關係を持し堅く統一戰線を結成しなければならない

裏切り行爲明白
獨外務省、經緯を發表

【ベルリン九日同盟】ドイツ外務省のスポークスマン、シュミット博士は九日國際記者團との會見においてイタリヤ傀儡政府の裏切行爲について次の通り述べた

バドリオを首班としてイタリヤに新政府が組織された際にバドリオは戰爭は繼續するであらうと言明したから、ドイツ政府としては政治的に新政府と提携してはならない理由を見出すことが出來なかつた、しかしドイツ側はイタリヤ外相がグアリリヤと外相リッベントロップが初めて會見した際に早くもドイツ政府はバドリオ政府の態度に疑念を抱くに至つた、しかしドイツ政府は依然として協力政策を續けしばらくの間はバドリオを信じてをつたところが、間もなくドイツ政府はこのことの誤りであつたことを發見したのである

政府筋の情報によれば色々な……

使者がバドリオを訪問したり、且イタリー要人が中立國に赴いて英國人と交渉してゐるといふことが判明した、その上ドイツ政府は休戰條件に關する草案を手に入れ、かつ傀儡政府がルーズベルトならびにチャーチルとの間に意見の交換を行つたとの情報も入手、さらにルーズベルトの代表とバドリオ政府の代表とが電話で話したといふことも判るに至つた、その上傀儡政府は自國の休戰に關聯し出來るだけドイツ政府にまさでへを喰はせようとの意圖の下に最近頻にドイツ政府に接近し政治、經濟軍事上の情報を得ようと躍起となつた

イタリヤ軍參謀總長の代表もドイツ軍代表との作戰會談に於いてイタリヤ軍は名譽にかけても某々地點を死守祖國を防衞する旨言明したが間もなく反樞軸軍に抵抗するなとの指令を帶びたイタリヤ軍將兵がこれら地點に派遣されたことが判明した、九月三日には傀儡政府はドイツ軍をイタリヤ國内の一定地點において移動させようと試みたがかりにドイツ軍がこれらの地點に移つてをれば反樞軸軍の上陸に際し全然役に立たない結果となつてゐるだらう、また九月五日には傀儡政府は戰爭を繼續するとの約束の下にイタリヤ艦隊のために馬鈴薯を、イタリヤ艦隊のために石油を供給してくれるやうに要求した、最近兩國政府が休戰の締結を發表したのちローマ駐劄ドイツの代理大使が傀儡政權に對し首相を照會したところ事實に非ずと回答してゐるやうやく當日午後七時四十五分に至りラジオで放送したのちにはじめてバドリオはドイツ代理大使に休戰の事實を傳へたのである

伊軍戰況公報停止

【ベルリン九日同盟】チャソ來電＝イタリヤ軍最高司令部は八日正午の軍公報をもつて、戰況公表の發表を停止した

イラン、對獨宣戰

【イスタンブール九日同盟】テヘラン來電＝イラン政府は九日ドイツ國に對して宣戰を布告した

總督府辭令（九日）

平北警察部兼警務課 金光忠一
任道警視（七）
命平北道在勤
寧邊局技師 林貞秀
（七川）道立醫院醫官 瀬島敏雄
依願免本官（各通）

消息

◇高橋省三氏（日本マグネ社長）十一日午前八時四十分發元山方面に出張、十五、六日頃歸任

東部戰線に泥將軍
兩軍の機動漸次阻害

【ストックホルム九日同盟】ドンバス地區ではすでに兩軍の機動作戰を漸次阻害しはじめたが、スターリンの西北方から西方にかけては夏季戰の掉尾を飾る空前の消耗戰が依然猛烈に續行されてゐる、獨軍前線報道によれば獨軍は同方面で縱深數キロの撤收を行つただけで八日夜來全線にわたる猛反擊に移りフラスノアルメイスコエから西北方に突出する赤軍の楔を同市とパブログラードの中間で完全に喰止めた模樣だ

他方スタカンログ、マリウポリ中間のアヂヨンノフカ西方でも目覺しい機動戰が展開されてゐるが、獨軍が引きつけては叩くといふ戰法をとつてゐるため戰局は殆ど進展せず獨軍情報によれば赤軍にマリウポリ東方沿岸に大兵力の上陸を圖つたが獨軍のため直ちに包圍されその殲滅は寸前に迫つてゐると傳へられる

何れにしても赤軍は遮二無二ドニエプル河畔への到達を焦慮して強力な攻擊を續けてをり、且同方面の戰線がもつともドニエプル河に接近してゐるが、一、二週間後には秋の泥濘期が訪れるため赤軍はこゝ數日中の戰局の態勢を決せねばならぬ立場にある

獨軍、諸々攻擊

……のノルウェー領スピ……攻擊を加へたといふ……

輕金屬屑 配給規則公布

物資統制令に基く金屬屑配給規則が十日附府令を以て公布即日實施された、金屬屑とはアルミニウム、マグネシウム又はその合金の屑（殘滓及び灰を含む）及びその再製品で今後移輸入された合金屑は統制機關の手を經なければ讓渡使用を許されない、但し總督が特に必要と認めた場合は所有者に對し讓渡すべきことを命ずることがある

飛沫あげ競ふ戰技
神宮奉賛・あす〝水の祭典〟開幕

大東亞戰下、再び迎へる第十九回朝鮮神宮奉賛體育大會は總督府初の主催のもと、大會の先陣を承ける水泳演練をもつて愈々十一日午後一時から京城運動場に戰ふ日本青年の闘魂を沸らせる、晴れの大會を激勵して小磯總督は大會第一、二兩日共に會場に臨場することゝなり、大會の光榮は弥が上に昂まつてゐるが、大會參加者は大學、專門、中等、それに一般を合せて、男女三百名が慶南、北、全南、忠北、京畿の各道から馳せ參じてゐる、大會に先立つて大會役員、選士全員は十一日午前十時朝鮮神宮に參拜、修祓、玉串奉奠をもつて大會を奉告、同日午後一時から京城運動場水泳池に開會式を擧行して、こゝに海國日本の躍動を誇示する水泳錬成の火蓋を切つて落す、大會競技演練も戰闘精神を大いに漲らせて、公開演技に飛込、水雷、水中重量物運搬競技、潜水競技などを織りこみ、二日間に亘る水泳錬成はあくまでも戰技把握と戰力增强をめざして、半島若人が日ごろ鍛へた逞しき力を神宮大前に奉納する

愛國班への配給
萬全期し要綱徹底

國民生活の安定確保は戰力增强のうへに及ぼすところ大きく、總督府は食糧その他生活必需物資の增產配給についてそれぞれ適正の計畫施設を施し、これに呼應して國民は一致協力、よく責務を完了すべきにも拘らず、物の配給に際しては往々にして統制に流れ、さらに配給の圓滑を缺く嫌ひがあるので、總力朝鮮聯盟では、今後愛國班を通じての配給に當つての勵行要綱を決定、これを特に下部組織に徹底させるため九日各道聯盟會長宛に通牒を出した

◇町洞里部落聯盟理事長は配給の通知を受けたるときは直に愛國班長を招集し配給品目及び其數量を明示したる上配給に關し打合せ協定し切符又は購入票を交付する等適正妥當を期すること
◇愛國班長は配給の切符又は購入券を班員に交付せんとするときは班員の集會を求め班に受けたる配給品目及び數量を明示し配給方法を協議決定の上切符又は購入券を班員に交付するとともし苟も班長專斷の配給を爲し班員の不平を醸すが如きことなきやう適正妥當を期すること
◇町洞里部落聯盟理事長及び愛國班長は常に現在人口を精査し配給上の不正を防止すること
◇町洞里部落聯盟理事長及び愛國班長は簡單なる配給整理簿を設け受配給品目毎に其數量又は班員への配給數量を記入し且つ受領者の認印を徴し必ず配給の徑路を必ず明白にし置くこと
◇町洞里部落聯盟は常に當局及び指定商店との聯絡を密にし配給上遺漏なきを期すること
◇配給に當りては隣保相助の精神に基き生活實情並に家族數等をも考慮し配分の適正を期するやう注意すること
◇配給に當り愛國班長においては現品の授受をなさざる方針なるにも不拘往々にして現品を扱ふ向もあるが如し、此の點篤と注意すること

棉花の共販開始

【大田電話】米英を根こそぎ倒すべく敢激の總力戰に備へ、後も涙ぐましい努力を續けてゐるがその生産陣の一翼棉花は不順なる天候によく打ち勝つて眞白な綿花が見事に膨れ上つた、忠南道ではこの棉花の共販を廿日を期に道内一齊に行はれるが、昨年は目標額に對して二四パーセントの好成績を示したので、今年もこの顔りを傷つけまいと懸命である、道では十三日大田、十四日洪城で地域別に自家

獻金づき繪葉書
大東亞戰三周年期して發賣

【東京電話】あの大いなる感激の朝から早や三年、今や戰線は幾千キロに亘り華々しい展開をとり、その間に擧げ來つた赫々たる戰果の何といふ素晴らしさであらう、その三年の戰果は國民をして必勝不敗の信念をしかと抱かしめ、伊太利落伍するともこの決戰に一億火の玉となつての赤誠を一段と昂揚するため遞信省では十二月八日の大詔奉戴日を期して獻金付き〝愛國繪葉書〟を發行することになつた【寫眞は大東亞戰爭記念報國繪ハガキ】

第五回航空記念日行事決る

【東京電話】南北に苛烈極まる空の決戰が日夜連續一億國民が空への關心をいよいよ固める秋、第五回目の航空記念日を來る廿日に迎へる、なにがなんでも空に勝ち拔かうの荒鷲の母たるべき決意の下大空への認識を深めるため大日本航空婦人會では傘下全國各支部聯合會約四萬の會員を總動員して左の如き行事を實施、空への婦人動員を行ふ
▲十五日(午後一時)荒鷲へ感謝母の會▲十五日(午後一時)航空必勝婦人協力大會、大阪軍人會館▲十六日(午後一時)航空必勝婦人協力大會、京都新聞會館▲同日、東京女學生航空見學、所澤陸軍飛行學校、同日航空士官學校▲十七日(午後一時)航空必勝婦人協力大會、名古屋公會堂▲十八日(午後六時)航空必勝婦人協力大會、東京軍人會館(午後一時)芝教育會館▲二十日(午後一時)荒鷲感謝母の會、東京寶塚劇場
なほ各地の航空必勝協力大會にはそれぞれ海軍航空隊將兵の荒鷲の實戰の經驗を語る

敵國在留同胞對策委員會總會

【東京電話】第二次交換船出帆に積込む温い國民の同情による救恤品の託送や、交換船で歸國する同胞を迎へての就職、その他の準備打合せのため敵國在留同胞對策委員會では十日正午から東京丸ノ內中央亭で總會を開催、丸山委員長以下約六十名の幹部が參集して、まづ歸還同胞の樣子の宿の心配から住宅、職業紹介など萬般手ぬかりないやう協議を遂げ主事鈴木龍之甫氏の同船を決定した、なほ現在集まつた救恤品の總計は次の通りである
茶六、四四五貫、醬油八七〇〇樽、味噌七、〇〇〇貫、約八、二〇〇本、明笛二〇〇本、ハーモニカ四〇〇個、將棋二〇〇組、碁二〇〇組、齒磨粉八、二二〇袋、齒ブラシ一二〇本、櫛四、〇六〇個、鋏四〇六個、爪切四〇六個、藥二〇、〇〇〇圓、書籍一〇、〇〇〇圓、その他寄贈圖書一萬册

彼にアツツ魂の一滴無し
伊降伏に香山氏憤激の詩

半島文壇の大御所香山光郎氏は孝子町の自宅に足を患ひ、手術寸前の不自由を喞ちつゝあるが、イタリヤ降伏のラジオに憤激し、次の詩を賦して本社へ送つて來た

イタリヤ降伏

イタリヤが無條件降伏すとか
かの老娼婦バドリオが
敵將アイゼンハウアに身を賣つたのか
あゝ憎き、老娼婦よ
世界新秩序を共々に建てようと
單獨講話はすまい、正義は、
必ず勝つ、最後まで、共々に
戰はう、といつた盟を反古にして
憐むべきはイタリヤの民に
偉大なるローマ人の裔といふ
無道米英の奴隷となる
マチニ、ガリバルヂー今や死してなし
イタリヤが無條件降伏す
わづか、敵の一部隊の上陸にしかも
臆病にも、カラブリヤ猶豫の晦なるに
アツツの玉碎の魂の一滴を袴に持たせてほしかつた

黒川、横山兩少將 大井大佐合同葬

【東京電話】南方の戰野に護國の鬼と化した黒川邦輔、横山明兩陸軍少將ならびに大井四郎陸軍大佐の合同葬儀は九日午後一時卅分から東京青山齋場で神式により執行された、齋場には黒川少將の英靈を中央にその左に横山少將向つて右側に大井大佐の英靈が安置され、畏くも御差遣の秩父宮家、閑院宮家、賀陽宮家御使の禮拜についで遺族參列軍官民の燒香があり三時から一般告別式に移つたが故人を偲ぶに相應しい盛儀であつた

京城齒科醫學會總會

第十一回京城齒科醫學會總會は來る十月一日午前八時から中區長谷川町京城齒專講堂で開催、同日は京城齒科醫學會主催東京齒專教授他四氏の時局特別講演がある筈

……消費の徹底的根絕と棉花等級鑑定共同出荷事務打合會を開く、なほ供出の優秀者に對しては道で表彰を行ひ、個人篤家には綿布の特配を行ふ

祖國は今こそ眞の實力發揮
車中決然語る獨逸人

【釜山電話】イタリヤ無條件降伏の第一報は各方面の注目を惹いてゐるが、十日朝釜山通過北行のドイツ人エドガー・ピー・レベダツグ(獨商、シームヤン商會東京支店勤務)ほかボンマルツア・ハゲマン(會社員)ラマルチン(藝家)氏等の一行に祖輔國民としての決意を聽けば次の如く語る
イタリヤ無條件降伏のニュースは昨日渡鳥通過の際に聞いてびつくりしたが日本の國民は極めて冷靜なもので驚きの色など全然見られぬのには二度びつくりさせられた、これからが本當の戰爭なのだからドイツでも眞に實力を發揮するのはこれからであると思ふ、私は十二年前に日本に渡つて來たが大東亞戰爭に入つてからの日本人の決戰生活振りは學ぶべきものが多く樞軸國の一人として私達は實に心强く感じてゐる

君の錬成を官廳側も注目
上京出席せよ歸鮮の就職學生

【東京電話】今年大學の新卒業生を内地官廳に就職せしめ半島學生の將來に大きな希望を與へた朝鮮奬學會ではこの初の試みが成功するか否かによつて將來に影響するところが大きいので、去る三日から十日間東京都仙川道場に錬成會を開催、各採用官廳もこれを重視して關係官が特に出張官吏としての必要項目につき教授すると同時に將來官吏として國民の先頭に立つべき精神の錬磨に勵んでゐるが、大部分の就職學生は故鄕に歸つて出席しないものが多い、官廳側でもこの錬成會への出缺に關し特に注目を拂ひ缺席者に對しては相當考慮を拂ふ方針と見られるので折角就職出來たものに若しそんなことがあつてはと親心を見せた奬學會では特に九月廿三日から廿日まで第二回錬成會を開き今回の缺席者を收容することとなつたが、歸鄕學生で内地官廳の就職決定者は是非廿三日までに歸京し錬成會に參加するやう希望してゐる、右につき川岸理事長は語る
奬學會としても責任が大きいので案じてゐるます、第一回生が惡い評判を立てられると來年以降の卒業生が官廳に入れなくなるのと國民の先頭に立つ官廳方面から半島學生は駄目だと斷定されるとになります、この點今度の就職者の責任はそれだけ各方面の注目してゐるところですから、しつかりやつて貰ひたいものです、仙川でやつてゐる錬成は從來の錬成とは違ひ官廳でも力を入れこの間に大體の事務の執り方を敎へ込んでおく積りで係官が出張してゐるのですからそこに出席した者としない者との間に當然區別して待遇することになるのではないかと思ひます、家庭の都合で鄕里に歸つてゐる者に最初の出發から禁があつては氣の毒なので二回を廿三から特に官廳に頼んで開くことになつたのですから未了者は、この第二回には是非出席して貰ひたいと思ひます

乘車々輛を指定
京仁線の混雜緩和へ
通勤・學生・一般　十三日から實施

京仁線の通勤、通學列車の混雜は全鮮で交通難の最大のものとして鐵道局ではこれが輸送の圓滑を圖るため種々研究を重ねてゐたが、去る九月一日から鐵道局員間に通勤自治班を結成し、交通道德の普及とこれが實踐躬行に乘出し、朝夕目覺しい活躍を續け好成績を擧げてゐるが、京城地方鐵道局では更にこの交通難の緩和策として通學生は保導聯盟、產業戰士は工場の協力の下に、來る十三日京城發十七時五分(仁川着十八時二十六分)及び、十四日仁川發六時十分(京城着七時廿六分)の列車から一般旅客、通學生及び鐵道局員の乘車々輛の指定を行ふこととなつたこの列車は緊急を要する各通勤者のために提供し不要不急の一般旅客は成るべく他の列車に乘るやうにせられ、なほ各客車の中程が空いてゐるのにデツキや戶口の傍に立ち塞つてその收容力を削減したり、先を爭つて入口に殺到するため乘車に手間どり發着時刻を亂したりしてゐるので一般旅客の支援と協力を要望してゐる

兄弟揃つて海兵へ
門司の朗話

【下關電話】ケベツク會談の對日先決主義を尻目に南、北兩海域に敵反攻企圖を擊摧する帝國海軍の壯絕極まりない死鬪が繰返へされてゐる時、海の强者として憤然起ち上つて、海軍特別志願兵を志願した半島兄弟がある——
話題の主は門司市小森江船町一丁目に住居する全南寶城郡筏橋面出身吉田金治郎氏の弟偉君(二〇)と誠君(一七)の二人で偉君が鄕里の筏橋國民學校を卒業すると間もなく兩君は昭和十五年一月以來、兄金治郎さん方に同居し門司市大里、石原麻袋製造所に兄弟打揃つて就職してゐたが、南溟の華と散つた山本元帥の戰死の報に、躍く海軍特別志願兵制度の公布に兩君は敢然海の强者を志願する決意を固め兄金治郎氏並に主人石川氏にその意をつたへ、兩氏の心からなる同意を得て、去る八月、大阪〇〇で行はれた身體檢査に見事合格、引續き行はれた學科試驗も受驗しこの程歸來したが兩君は勝離らせて米英必滅の楯の取れる日を一日千秋の思ひで待つてゐる

普通試驗筆記合格者

さきに施行の普通試驗筆記試驗合格者を十日總督府で左の如く發表、なほ口述試驗は來る廿二日午前八時半から京城師範で行ふ
(京城)光山博義、錦城又雄、吳原濤勇、金光洸、福井利夫、加藤晴一、成豐敏五、松原宗明、松村泰政、岩城丙泰、李原康澔、岡本鶴一、松本碩太郎、李原錫胤、前山一男、士本秀信、平山勝榮、金岡正、福原利明、佐々木保(全州)松永憲成、江本哲雄、德永濟憲、井上隆義、金本貫、重富元嗣、葛谷錫圭、高村文雄、豐城正治、加東桂中、津村完二、平信太郎、瀬川行雄、富盛壽一、泉原亨福、長川幸平、大川源泰、平岡永行、大塚勞、丘在文、高在九、久保貞吉(大邱)山本榮俊、丹波高德、千々和澄男、金政世修、成田化德、宮谷敬夫、安川文人、清本相宏、大原章弘、西原健雄、香井能寬、西村角美、文原永珏、河本慶造、夏山聖基、金本定琛、岩本傳光(平壤)松山浩吉、國本龍淵、金岡源元、有山博、桂昇、吉山鍔淳、義本乃躍、江原承藏、江原宗欽、井口政雄、箕原文三、金田富雄、岡村恵太郎、大川仁男、富田基壽、海田賀壽(咸興)金田世岡、金彩建洙、金本將宣、有馬純明、金田光郎、桃原隆虎、金原光政、青松相漱、丸井濟敦(保留者)(京城)巖山學來、(全州)東本光正、金田利平、李鑒相起、玉川振佑(大邱)山口壽國(平壤)木村忠夫(咸興)森省三

錬成所査閱

【長承浦】邑立青年特別錬成所生の初の査閱が去る五日正午より二運國民學校々庭において慶南道高木視學を迎へて行はれた

京日歌壇　柿田盛郎選

興南　鏑ケ江義則
出征の旗立ち並ぶ門口を心つつしみわが通りをり
京城　中嶋艶子
思ふほど業はかどらずまたしても時計の針の進みしを見つ
京城　小室アイ子
病室の眞白き壁をひもすがら眺めくらすか戰しかる世に
咸南　金　殷鐘
露にぬれて白菜畑の虫取れば朝餉の時にまたもおくれぬ
本浦　古賀正穗
朝刊にキスカ撤收の記事あればみな著置きて遙かに禱ふ
▲短歌募集　官製ハガキに認め一人三首以內、〆切を定めず、本社編輯局文化部短歌係宛のこと

謹訂　十日附朝刊三面『朝香宮鳩彥王殿下飛行學校御卒業』と題する記事中、見出、本文とも『鳩彥王殿下』とあるは『孚彥王殿下』の誤りにつき謹訂致します

家庭栽培に好適
五人家族なら二坪で結構

菠薐草(菠)(薐)(草)

菠薐草の上手な作り方——折角空地を利用して蒔いた野菜類の生育が香ばしくないとの憂の際に〝菠薐草の作り方を聽く〟原高農掘野助教授に
◇……菠薐草は生育力旺盛で六、七八月を除いては隨時播種し得る、殊にヴイタミンCの含有量は蔬菜中隨一で造血劑として貧血症の人、便秘症の人によく栽培の青菜として、家庭栽培に好適であり、五人家族なら二坪で結構間に合ふ
◇……品種は日本、西洋兩種があり一般に日本種の方が風味よく寒地の氣候に耐へる、日本種で知られてゐるのは大葉法蓮草、次郎丸等で注草ではピロフレー、シツクリンド、ロングスタンデイング等がある
◇……土質は冬期日當りのよい、風當りの少い土地がよく、腐植質に富んだ石灰質分を含んだ土地なら殊によく生育するが餘り乾燥する所はよくないし酸性度の强い土地も生育しないからこの場合はよく腐つた堆肥を全面に施して整地、後とし鍬で輕く鎭壓して覆土は二分前後に鍬で蒔く
◇……播種期は秋採りは九月上旬、春採りは九月中旬まで蒔き、播種量は一坪に三勺乃至五勺とし播種前に坪當り草木灰二百匁、石灰など百匁見當に撒布する
◇……斯くして一週間內外で發芽するが、最初施す液肥は人尿のうすめたので差支へないが收穫期には油粕を甕に入れて腐敗したものが望ましい、硫安があれば一層衛生的である
◇……九月上旬蒔のものは十月下旬から收穫し鮮紅色の根のまゝを食用する、春採りは十二月上旬に敷藁か落葉を厚さ二寸位被覆すれば嚴寒の時でも隨時收穫し得る、秋蒔きのものは株間三寸位にし液肥を施すことが必要である、肥料は少々多く施しても害はないから充分與へ食用には間引したものを主とし越冬前に充分株の中に充分給肥すれば根張りもよく春の收量も多い

時計の修理は村木へ

證券　底堅
惡材出盡す

前場　伊太利の無條件屈伏は折からの市場にまたと得難い好個の試煉材料を注入した態であり、一般投資者にも多くの示唆を與へたものといへよう、即ちあれだけの最惡の場面にぶつかつたにも拘らず下げらしい下げがない、むしろ部分的には逆に引締めてきたものもあり、その先驅をなしたものが航空機工業株である、その他は大體鯨らずながら何れかといへば底堅い振合が見受けられた、なほ長期は龍工新五十二圓十錢と十錢方高、遊仙六十圓五十錢と十錢方呆り、小林七十五、六圓、新鐘七十一圓六十錢と廿錢方の軟調を示した
後場(保合)引續いて買賣とも見送られて場面閑散、よつて諸株とも保合ひ商狀に推移した

『實物』變らず

環境の推移待ちに積極味は乏しいが、業績の安泰性のある時局產業株には買氣が潜流してゐる、たゞ人氣が弱化してゐるので諸株とも値頃は變らず商內もあまり振はないものがあつた、主なる出來値左の如し
小林七五圓▲龍工新五二圓二▲三國石炭新三〇圓四一二一三〇圓▲朝鮮石油新五七圓二▲朝鮮製鍊二六圓五▲高周波五二圓六

三國石炭押す

三國石炭工業新株は月初め廿二圓台を上廻つて市場に上場以來の新高値を示すものとみられる

底値鍛鍊に移行

現後、足踏み商狀を呈したが、流石に高値には利喰ひ賣物嵩み、今前場は前日丁度と高値より約二圓方押した、目先も若干行過ぎの訂正安が行はれるものとみられるが押込に次ぐ增資といふ發展材料があるので利喰ひ一巡後は再び買狙はれるものとみられる
伊太利の無條件降伏は必ずしも寢耳に水ではなかつた、既に地中海作戰の轉移及びさきの政變に引續いて廿餘年の歷史に輝くファシスト黨が突如解消したときにその所在を發見しなければならないとふのである、たゞ投機者流に考へれば今後の歐洲戰局は可なり不氣味なものがあり、吃驚するのも何ら不思議はない、しかし市場情勢に應じて有力筋が既に買支へてをり、樞軸側より伊太利の脫落によつる動搖はその片鱗すら見當らない至つて冷靜そのものであり、おそらく市場劇說以來の嚴肅な市況が現出されたのである、これはとも直さず戰ふ日本の底力の强さを示すものであり、今後に於ける投資方向に多くの示唆を與へるものといはなければならない、もし相場觀として許されるならばこゝ買同向に殺込めば却つて灰汁拔けは案外早かつたであらう、それだけに急激な出直りも困難とするほかないが、相當長期間に亘つて買過ぎの訂正安が行はれ、兵器工業株はぼつぼつ採算圈內に入つてゐるから底値鍛鍊を經れば當然利廻り修正の循環物色買が再び擡頭する

證券(十日)

朝證長期

銘柄	前當	中	後先
龍工	引寄	[illegible]	[illegible]
遊仙	引寄	[illegible]	[illegible]
小林	引寄	[illegible]	[illegible]
製鍊	引寄	[illegible]	[illegible]
鐘新	引寄	[illegible]	[illegible]

大阪長期

銘柄	前先寄	引	後先寄
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戶鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱重	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京長期

銘柄	前先寄	引	後先寄
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日窒	[illegible]	[illegible]	[illegible]
吳羽紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
倉絹	[illegible]	[illegible]	[illegible]
洋レ新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東東紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東亞麻	[illegible]	[illegible]	[illegible]
麻糸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘實	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日槽工	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱電	[illegible]	[illegible]	[illegible]
古河電	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日ビス	[illegible]	[illegible]	[illegible]
淺野工	[illegible]	[illegible]	[illegible]
砂鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋ベ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
池貝自	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
デーゼル	[illegible]	[illegible]	[illegible]
磐城炭	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北炭新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高周波	[illegible]	[illegible]	[illegible]
電冶	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鋼管	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東製鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石原	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱鑛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
兵器	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三菱重	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新潟	[illegible]	[illegible]	[illegible]
函館	[illegible]	[illegible]	[illegible]
浦賀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石川新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石川島	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日礦	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
電化	[illegible]	[illegible]	[illegible]
チツソ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鹽糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]
昭和電	[illegible]	[illegible]	[illegible]
不二越	[illegible]	[illegible]	[illegible]

現株仲値(十日十一時調)

◇銀行株：鮮銀、同新、殖銀、同新、商銀、同新、二新、三新、府銀、第一新、漢銀、信託、朝無盡
◇紡織株：朝紡、同新、京紡、朝織物
◇運輸株：朝鮮郵船、二新、京春、京東、京南、朝運、同新
◇電氣株：南鮮電、同新、北鮮電、同新
◇鑛業株：漢水電、京電、同新、西鮮電、同新、小林鑛、無煙炭、同新、三成、日マグ、製鍊、遊仙、鳳泉炭、三國、同新、朝陽
◇電氣化學：高周波、龍工新、弘中、同新、朝機械、國產車、朝石油、同新、北鮮紙、東拓金、朝理研
◇諸株：朝拓、同新
◇大陸株：東拓、同新、米市場、滿工廠、同新、日滿ア、同新、滿山鋼、滿鋼管、同新、滿電信、華北電、中華煙、東洋煙、同新、北支電、中支煙、大同電、熱河、滿ベル、錦ベル
◇內地株：◇紡織株：日東紡、同新、日清紡、日紡、◇人絹株：倉絹、同新、帝人
◇鑛業株：日毛新、同新、北樺炭、昭和鋼、同新、石原產、同新、新鋼、北樺油、昭和油新、帝油新、◇化學工業：日窒、同新、電化、同新、日曹、同新
◇重工株：大同鋼、小倉、同新、ニッケ、神鋼新、昭和電、日立新、日輕金、石井鐵、同新、新潟鐵、池貝鐵、製鋼、淺重工、昭和飛
◇船舶造船：日航機、同新、デイゼ、同新、東洋ベ、日ビス、國際船、東洋船、川崎船、同新、川南、石川島、同新、二新、三重
◇製糖株：台灣糖、同新、鹽水港
◇電氣瓦斯：東電、同新、關東電、關西電
◇製紙製粉：王子紙、日清粉、同新、日本粉
◇諸株：三越、同新、鐘實、鐘紡

後三國志
篇外餘錄　後蜀三十年(五)
【241】吉川英治(作)　矢野橋村(繪)

開城を宣すると、蜀臣はその旨を魏軍へ通告した。
城外には魏軍の奏する樂の音や、萬歲の聲が絶えまなく沸き立つてゐる。蜀宮の上には降旗が掲げられ、帝は多くの妃や臣下を連れて城外へ出た。そして魏將鄧艾の軍門に降をちかふ、の屈辱に服したのであつた。
かくて、蜀は、成都開府以來、二世四十三年の終りを、この日に告げたのであつた。
昭烈廟(玄德を祀る所)の松柏も、この日、風はいかに粛々と啼き、それとも悲しき怒りをこめて鳴いたことか。
なほなほ、關羽、張飛、その他數多の父、驃將の子、また、無數の英魂、忠臣、義膽の靈は、いかに泉下の無念をなぐさめてゐたらうか。
曾て、此士のために、生命を用であつたといふしかない。
蜀將は、存生中にも、どもいと多くは耳にかさず、求めて隙を生じ、急いで國家を危殆へ早めて來たことも一再、否み得ない作用であつたといふしかない。
姜維等のこの意氣は、してゐた姜維も、成都の開城を傳へ聞き、また勅命に接して、魏軍に屈伏するの已むなきに至つた。
『武器を放棄せよ』
と、姜維に命ぜられて、魏の前に降兵として出ることになつた彼の部下は、このとき皆、
『無念』
と、劍を拔いて、石を斫つたといふことである。
これを見ても、蜀人の意氣鬪志は、まだ必ずしも地に墜ちてゐたとはいへない。いやむしろ孔明なき後の三十年も、年々、進攻的な氣概を外敵に示し、『攻むるは守るなり』の積極策を持ちつゞけて來た氣力には、むしろ傷かれるものがある。
とは言へ、姜維等のこの意氣は、
さゝげ、骨を埋め、土中に蜀の萬代を禱つてゐたらうに、今や地表は魏軍の土足にとゞろき、空は魏旗に染められてゐる。
抑、誰の罪か。
心なき蜀中の士民とて嘆かぬはなかつたであらう。
たゞこゝになほ劉家の血液を謗つた一皇子がある。帝劉禪の二男北地王諶であつた。皇子は初めから帝の降服にも開城にも大反對で
『蜀宮を墳としても、魏と最後の最後まで戰ふべきです』
と主張してゐたが、つひに容れられず、自分と共に討死しようといふ烈士もゐないので、慨然、ひとり祖父の昭烈廟へ行つて、妻子をさきに殺して自分も潔く自殺した。蜀漢の末路、たゞこの一皇子あるに依つて、歷史は依然、人心の讃美と人業の悲嘆を失つてゐない。
陰平の嶮に據つて、鍾會と對峙し得る限度ではあるまいか。外の功業の如きは、やがて孔明のやうな能者を待つて初めて望み得ることだ。僥倖を思ふて、成敗を一擧に決せんとするやうなことは、吳々、おたがひに愼まなければなるまいと思ふ』
これは一面の善言であつた。
しかし姜維はべつに姜維の抱負を持しつゞけた。いづれが是であつたか非であつたか。これは却つて周譙の最後のことばに傾聽するものが多いやうだ。
だが、過去を天地の偉大な詩として觀るとき、姜維の多感熱情はやはり蜀史の華といへよう。彼はつひに長く屈辱的武人たるに忍びきれず、後又魏の鍾會に反抗して忽ちその手に捕へられ妻子一族とともに、首を刎ねられた。彼の血液はやはり魏刀に斬られるものに初めから約束されてゐたやうである。

かう言つてゐた宰相がある——
『自分などは、どう懸眼に見ても、到底、故丞相に及ばないこと遙かに遠い者だ。——その丞相ですら、なほ中原を定め得なかつたことを思ふと、況んや、われら如きに於てをやと、痛感しないわけにゆかない。だからしばらくは、よく內を治め、社稷を守り、令を正し國を富ましめるのが、われ等のな

京日特選 高段者勝拔戰
第十回(図は第四十三手迄)

八段△梶一郎
先七段▲山本樟郎
持時間 各六時間 消費時間 △二、五〇分 ▲二、〇〇分
△6八と ▲同金 △6二飛 ▲3九角 引ク △5七歩 ▲9一歩ナル △8五桂 ▲9一歩ナル
木村名人講評　先手九五歩は苦戰と見ての勝負手だが、如何せん攻撃武器の不足は大勢を動かすべき餘力がない。次で七九金だがこれは緩い。直ちに九四歩と迫るべきである。後手五六とで金得となつては九三歩成を許しても玉の退路は開けてゐるから益々優勢である。
▲山本氏　角